

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2007-48268

(P2007-48268A)

(43) 公開日 平成19年2月22日(2007.2.22)

(51) Int. Cl.	F 1	テーマコード (参考)
G06F 3/01 (2006.01)	G06F 3/01 310A	
G09B 21/00 (2006.01)	G09B 21/00 C	
F03G 7/06 (2006.01)	F03G 7/06 F	

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号	特願2006-130824 (P2006-130824)	(71) 出願人	592160663 株式会社エスシーエー
(22) 出願日	平成18年5月9日 (2006.5.9)		香川県丸亀市土居町二丁目11番7号
(31) 優先権主張番号	特願2005-207551 (P2005-207551)	(74) 代理人	100084375 弁理士 板谷 康夫
(32) 優先日	平成17年7月15日 (2005.7.15)	(74) 代理人	100121692 弁理士 田口 勝美
(33) 優先権主張国	日本国 (JP)	(74) 代理人	100125221 弁理士 水田 慎一
		(72) 発明者	澤田 秀之 香川県高松市林町2217番20 国立大 学法人香川大学工学部内
		(72) 発明者	水上 陽介 香川県高松市林町2217番20 国立大 学法人香川大学工学部内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 形状記憶合金の機械振動を情報伝達手段とする触覚による情報伝達装置

(57) 【要約】

【課題】 情報伝達装置において、応答性が良い振動現象を呈することを可能とし、小型軽量化及びエネルギー効率の向上を図ると共に、生体に文字情報等の高度な情報を伝達することを可能とする。

【解決手段】 情報伝達装置は、振動運動を行なう小型振動アクチュエータ1と、パルス電圧を発生するパルス発生器2と、パルス電圧を増幅する電圧増幅器3とを備え、小型振動アクチュエータ1は、2本のリード線部4と絶縁部5と形状記憶合金本体6を備えている。パルス発生器2は、小型振動アクチュエータ1の形状記憶合金本体6を振動させるパルス波を発生し、電圧増幅器3は、該パルス波を所定の電圧に増幅する。形状記憶合金本体6は、パルス波を印加されると振動し生体に情報を伝達する。情報伝達装置の小型軽量化及びエネルギー効率の向上を行なうことができ、また、応答性が良い振動現象を呈し、生体に文字情報等の高度な情報を伝達することができる。

【選択図】 図1

